

平成27年度 常磐野教育 重点課題と取組

◎重点課題

- 1 児童の学力向上
- 2 校内研究の推進
- 3 攻めの生徒指導の実践
- 4 人権教育の充実
- 5 社会性や豊かな心を育てる協働活動



◎取組

1 児童の学力向上

①日常の授業の充実，個に届く授業実践

- ・「わかる喜び」と「学ぶ楽しさ」を実感できるように，児童理解に基づく思考の流れを考えた授業展開や個に応じた支援
- ・主体性，学習意欲の向上をキーワードに，めあて（学習課題）と振り返り（まとめ）の徹底
- ・効果のある指導形態の工夫
3～6年でT・T，分割授業，交換授業等の実施

②学習集団づくり～学びの約束やルール of 徹底

③帯時間（スキルタイム），がんばり勉強の充実

④読書指導の推進（朝読書の徹底，図書室の活用）

⑤家庭学習の習慣化～やりきらせる指導，自学自習の奨励



2 校内研究の推進 ～理科・生活科・生活単元学習を通して 【研究主題】

自然に親しみ，自らの学びをひろげ深める子どもの育成
～主体的に学ぶ姿の追求と言語活動の充実～



①授業開発～自然に親しむ，問題解決的な学習と体験活動の重視，学習

問題と振り返り⇒実感を伴った理解を図る，気づきを広げる

②授業以外の取組

- ・理科環境の整備（掲示板の活用，自然だよりの発行，理科コーナー）
- ・わくわくサイエンス（児童朝会でのミニ実験～興味・関心を高める）
- ・夏休み自由研究の取組（2年次）の推進～探究心，表現力の育成
- ・ネイチャーランドの整備と活用
- ・土曜学習「サイエンススクール」
- ・嵯峨野高校との理科連携

③言語活動の充実・推進

- ・「話す力」「書く力」の向上，共に学び合う力の育成

④英語活動の推進

- ・3・4年から英語活動の授業の実施と英語の日の取組の推進



3 攻めの生徒指導＝日頃からの生徒指導の充実

- ①児童理解の徹底と見逃しのない観察
- ②心の通った指導
 - ・子どもの思いを「聴く」
 - ・自己肯定感と自己有用感を育てる
 - ～集団活動（学校行事、全員遊び、係活動等）や授業の中で、児童が活躍できるような場を意図的に仕組む、学級集団の意識を高める
- ③手遅れのない対応
 - ・組織的な対応，報告・連絡・相談の徹底
- ④相手を大切にすることの言葉づかい，あいさつ，きまりを守ろうとする意識の高揚



4 人権教育の充実

- ①児童の人権感覚，人権意識の向上。いじめを許さない，やさしい子の育成
- ②教職員研修，授業公開と保護者啓発の連動
 - ・教職員全員で人権影絵劇に取り組む
- ③LD 等支援の必要な子どもの実態把握と「個別の指導計画」
「個に応じた指導計画」に基づく総合育成支援教育の推進

5 社会性や豊かな心を育てる協働活動

- ①道徳教育の充実
- ②たてわり活動の実施
 - ・たてわり班を作成し，たてわり遊びや読み聞かせの実施。
- ③よさや可能性を高める部活動の取組
- ④地域との協力体制の強化と充実
 - ・学校運営協議会の推進～小中合同運営協議会理事会の実施
 - ・地域の方から学ぶ～ゲストティーチャー，地域行事への参加
- ⑤学校評価を生かした運営の推進
 - ・ホームページの更新増加による積極的な情報発信

